

# 県民オペラ練習に熱

## 「かぐや姫」28日に本番

県民に舞台芸術を身近に感じてもらうと、県が企画したオペラ「かぐや姫」の全体リハーサルが11日、アルファあなぶきホール(高松市玉藻町)であった。舞台に立つ人や裏方などオペラを作り上げる約100人は公募に応じた県内の人たち。28日の本番を目前にし、練習は熱を帯びている。

公募に応じた人たちは、舞台に立つソリストや合唱者、裏方で舞台を支える大道員や衣装などの担当に分かれ、10月から練習を始めた。指導し



リハーサルをする出演者＝高松市玉藻町

ているのは、このオペラの作曲と台本を担当した指揮者の平井秀明さん、俳優で演出家の浜畑賢吉さんら。

この日、出演者は平井さんから「もっとテンポよく。ここはゆっくりやさしく」などとアドバイスを受け、真剣な表情でリハーサルに励んだ。丸亀市の自宅で歌などを教える上野晃代さん(36)は「勇気を出して応募しました。みんなと一緒にオペラを作っていくのは大変だけど、やりがいを感じます」。平井さんは「オペラを身近なものにしようとする新しい試みです。日に日に上達していく出演者、スタッフに大変驚いています。地域参加型のオペラを是非見に来てほしい」と話した。

オペラ「かぐや姫」は同ホールで28日午後6時開演。一般2千円、高校生以下500円。問い合わせは同ホール(087・823・5023)。(下山祐治)